

このコーナーは、地元を離れ

奈良で生活している学生さんたちに、奈良に来てみての感想や、ふるさとの自慢話を紹介してもらおうというものです。

今回は、3回生の大濱英里子さんに答えていただきました。

ひろしまけん
安芸高田市

大濱英里子
国語教育専修
3回生

インタビュー内容

- ① 奈良のすきなところ
- ② 奈良に来て驚いたこと（地元にはないもの・こと）
- ③ ふるさと紹介
- ④ ふるさとの自慢できるところ
- ⑤ ふるさとの観光地、おすすめスポット
- ⑥ ふるさとの特産品・名物料理

① 奈良は歴史的な建造物にあふれた土地で、ほかにはない落ち着きがあるところが好きです。奈良には有名な和歌に詠まれた天の香久山、竜田川、吉野の山などもあり、ここであの歌が詠まれたのか…と感じられるのも素敵ですね。京都や大阪へのアクセスもしやすく、都会の喧騒もなく、とても住みやすいところも魅力だと思います。

② 奈良に来て驚いたことは、やはり鹿の多さでしょうか。人と鹿が当たり前共存していることに驚きました。私の出身地である安芸高田市も緑にあふれた田舎なので、野生の鹿を見ることもありましたが、奈良のように街中で見かけることは稀でした。奈良教育大学の構内にもたくさん鹿がいて、いつ見ても可愛いその姿に日々癒されています。

③ 私のふるさととは広島県北部に位置する安芸高田市です。人口約3万人の小さな市ですが、豊かな自然と温かい人々が魅力的な穏やかな所です。毛利元就ゆかりの地で、サンフレッチェ広島の本拠地があります（サンフレッチェという名前は元就の「三矢の訓」からきています）。自生できる南限とされる「かたくり」などの花の名所や温泉などもあり、都会にはないゆったりとした時間を味わうことができます。

④ 安芸高田市には神楽（かぐら）という伝統芸能があります。神楽とは太鼓や笛などのお囃子と一緒に、華やかな衣装や表情豊かなお面をつけた人たちが、神話などの物語を題材にして舞うものです。その語源には諸説ありますが、まさに文字通り「神様を楽しませる」ことが本来の目的であり、その土地の氏神様に奉納される神事として執り行われてきました。演目のストーリーの面白さはもちろん、美しい舞姿や心躍るお囃子の音も楽しむことができます。秋冬に甘酒を飲みながら神楽を見るのは最高ですよ。

⑤ 安芸高田市のおすすめスポットは、神楽門前湯治村です。神楽門前湯治村は、天然温泉と、格子づくりの旅籠屋や湯治宿、田舎料理屋、茶店などがあり、昔懐かしい町並みの家族みんなで楽しめる施設です。かむくら座や神楽ドームという神楽を見るための施設もあり、ここでは週末に市内22神楽団による神楽公演が行われています。

⑥ 安芸高田市の特産品は梨、りんご、竹炭、豆腐などがあります。また、えびす茶というお茶もあります。これははぶ草が原料のお茶で、カフェイン・タンニンがほとんど含まれておらず、体の弱い方等に良いとされている健康茶です。私も小さいころからよく飲んでいたふるさとの味です。

【方言】

- 【たいぎい】…めんどくさい
- 【たう】…（手などが）とどく
- 【びっしゃこ】…ずぶ濡れの状態
- 【あずる】…苦戦する
- 【たちまち】…とりあえず
- 【～しんさい、やりんさい】…しなさい、やりなさい

1. かたくり自生地

2. 神楽門前湯治村

3. 神楽の公演

